

I/O 戻りコード

LANS A技術解説書 3-29

戻りコード	説明/意味
OK	正常終了。操作が正常に完了しました。エラーは検知されませんでした。
ER	回復不能エラー。回復不能エラーが検知されました。エラーはおそらく回復不能です。問題の原因がつかとめ、修正し、操作を再試行してください。 本省で、I/O状況レコードのロックについて説明しているセクションも参照して下さい。
VE	妥当性検査エラー。挿入、更新、削除操作がファイルまたはディクショナリ・レベルの妥当性検査に通りませんでした。
NR	レコードがない。要求に一致するレコードが見つかりませんでした。
EF	ファイルの終わり。読み込み操作中に、ファイルの終わりが検出されました。
BF	ファイルの開始。読み込み操作中に、ファイルの開始が検出されました。
EQ	該当キーが見つかった。指定キーと同じ値のキーを持つレコードが、ファイル内に見つかりました。
NE	該当キーが見つからなかった。指定キーと同じ値のキーを持つレコードが、ファイル内に見つかりませんでした。

I/Oコマンド戻りコード表

LANS A技術解説書 3-30

コマンド	I/Oエラー	ディクショナリ 妥当性検査	見つからない	見つかったま たは完了した
INSERT	ER	VE*	-	OK
UPDATE	ER	VE	NR	OK
FETCH	ER		NR	OK
SELECT	ER		EF#	OK
WHERE				OK
FILECHECK	-		NR	EQ
CHECK_FOR	-		NR	EQ
DELETE	ER	VE	NR	OK

* 重複キーを挿入(INSERT)使用とすると、VEが戻されます。

WHEREパラメータを使用しているSELECTコマンドは、各レコードを選択して、それぞれ条件に照らしてテストします。最後のレコードが選択されると、処理はSELECTループを離れます。SELECTループには、最後に選択されたレコードが残ります。このレコードは、WHERE条件を満たしていなかった可能性があります。